

- 問1 国家権力の集中を防ぐ三権分立の仕組みにおいて、国会が裁判所に対して持っている「抑制（チェック）」の機能として最も適切な説明を選びなさい。（2018年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|----------------------------------|-------------------------------|
| 1. 最高裁判所の裁判官がその職にふさわしいかどうかを、国民が直接投票で判断する制度を管理する権限。 | 2. 不適切な行為をした裁判官を辞めさせるため、国会議員によって構成される弾劾裁判所を設置する権限。 | 3. 裁判所が下した判決の内容について、国会が再審理を行う権限。 | 4. 内閣が指名した最高裁判所長官を、国会が承認する権限。 |
|--|--|----------------------------------|-------------------------------|
-
- 問2 内閣総理大臣の指名において、衆議院と参議院で異なる人物が指名された場合、意見を調整するために両議院から各10名の委員が選出されて話し合いが行われます。この話し合いにおいて意見が一致しなかったとき、日本国憲法の規定に基づき、最終的にどのような取り扱いになりますか。（2023年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------|---------------------|--------------------|--------------------------|
| 1. 衆議院の議決が国会の議決となる | 2. 最高裁判所が指名者を最終決定する | 3. 参議院の議決が国会の議決となる | 4. 衆議院・参議院の両議院で再度選挙をやり直す |
|--------------------|---------------------|--------------------|--------------------------|
-
- 問3 法律案の議決における「衆議院の優越」の手続きについて、衆議院と参議院で異なった議決をした場合の正しいルールを選びなさい。（2022年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 衆議院と参議院の意見が一致しない場合、どのような法律案であっても必ず両院協議会を開かなければならない | 2. 参議院が否決した法律案は、内閣総理大臣が再議決を求めて閣議決定を行わない限り、二度と審議できない | 3. 衆議院で可決した法律案を参議院が受け取った後、10日以内に議決しない場合は衆議院の議決が国会の議決となる | 4. 衆議院で可決し、参議院で否決された場合、衆議院で出席議員の3分の2以上の多数で再び可決すれば法律となる |
|---|---|---|--|
-
- 問4 日本国憲法が定める内閣総理大臣を決定する手続きについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。主権者である国民が選挙を通じて政治に参加しているという観点から説明したものを選びなさい。（2020年 高知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 国民が選挙で選んだ代表者によって構成される国会が、議決によって国会議員の中から指名する。 | 2. 最高裁判所の長官が、国会による推薦を受けた人物の中から、法に基づき指名する。 | 3. 国民が直接投票を行い、全国で最も多くの票を得た候補者が自動的に就任する。 | 4. 内閣の助言と承認に基づき、天皇が国民の中から実質的な権限を持つて指名する。 |
|---|---|---|--|
-
- 問5 日本国憲法第41条において、国会は「国権の最高機関」であり、国の唯一の機関としてある権限を持つと規定されています。国民の権利や義務を規定する法規範を作成する、この主要な権限を何といいますか。（2021年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|----------|----------|------------|
| 1. 条約の締結 | 2. 予算の作成 | 3. 法律の制定 | 4. 法令の違憲審査 |
|----------|----------|----------|------------|
-
- 問6 人権に関する学習ワークシートにおいて、「無実の罪で有罪となり、長期間拘束されていた人がいる」という事例が紹介されています。このように、判決が確定した後に新しい証拠が見つかるなどして、裁判の誤りが判明した場合に、裁判をやり直して被害者を救済するための制度を何といいますか。（2019年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-----------|-------|----------|
| 1. 三審制 | 2. 罪刑法定主義 | 3. 再審 | 4. 検察審査会 |
|--------|-----------|-------|----------|
-
- 問7 衆議院議員総選挙の際、投票所には小選挙区制や比例代表制の投票箱と並んで、特定の裁判官の名が記された投票用紙を投じるための投票箱が用意されます。最高裁判所の裁判官がその職に適任であるかを国民が直接確認するこの制度の名称として、正しいものはどれですか。（2021年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 国民投票 | 2. 国民審査 | 3. 住民投票 | 4. 弾劾裁判 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問8 かつては薬局での販売に限定されていた医薬品の一部が、現在ではコンビニエンスストアやインターネットでも購入できるようになっています。このように、政府が従来への許可や認可の仕組みを見直して、民間企業が参入しやすくする動きを何と呼びますか。（2018年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------|------------|---------|------------|
| 1. 独占禁止法の制定 | 2. 累進課税の導入 | 3. 規制緩和 | 4. 公共事業の拡大 |
|-------------|------------|---------|------------|
-
- 問9 日本の司法制度改革の一環として導入された裁判員制度について、その制度の目的や仕組みとして正しい説明はどれですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------|---------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|
| 1. 損害賠償などを争う民事裁判の審理を迅速化すること | 2. 裁判官の人数を減らし、一人ひとりの業務負担を軽減すること | 3. 国民の健全な社会常識を裁判の内容に反映させること | 4. 国民は有罪か無罪かの判断のみを行い、刑罰の内容には関与しないこと |
|-----------------------------|---------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|
-
- 問10 近年、特定の刑事事件において、警察や検察官による「取り調べの可視化」が義務付けられました。この取り組みが行われるようになった主な理由と目的の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 取り調べの時間を短縮することで、警察官や検察官の労働環境を改善し、公判のスピードを上げるため。 | 2. 裁判員制度において、市民が取り調べの様子を傍聴できるようにして、裁判の公開原則を強化するため。 | 3. 密室での不当な取り調べによる冤罪（えんざい）を防ぎ、自白の任意性や客観性を確保するため。 | 4. 被疑者が自分の供述をSNSなどで公開することを許可し、捜査の透明性を世界にアピールするため。 |
|--|--|---|---|
-
- 問11 日本の国会には、裁判官としてふさわしくない行為があったとされる裁判官を罷免（辞めさせること）するかどうかを判断する機関が設置されています。この機関の名称として正しいものはどれですか。（2023年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|----------|----------|----------|
| 1. 行政不服審査会 | 2. 最高裁判所 | 3. 検察審査会 | 4. 弾劾裁判所 |
|------------|----------|----------|----------|
-
- 問12 日本における裁判の仕組みとその目的について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2015年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 国会議員によって構成される裁判所において、職務上の義務に違反した裁判官を罷免するかどうかを判断することで、三権分立を維持している。 | 2. 裁判を迅速に終わらせることで被告人の精神的負担を軽減するために、原則として1回の審理で全ての判決を確定させる制度をとっている。 | 3. 裁判の誤りを防ぎ、被告人などの人権を守るために、同じ事件について最高裁判所を終審とする3回までの審理を認めている。 | 4. 国民から選ばれた裁判員が、裁判官と一緒に有罪・無罪や刑罰の内容を決定することで、裁判の専門性を高めることを主な目的としている。 |
|--|--|--|--|
-
- 問13 日本の三権分立の仕組みにおいて、司法の独立を保ちつつも、権力の行き過ぎを防ぐために国会が裁判所に対して持っている抑制の機能として正しいものはどれですか。（2025年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 裁判所が下した判決の内容を精査し、不当な場合には国会で判決を取り消す機能 | 2. 最高裁判所の長官を指名し、その他の裁判官を任命することで司法の人事に介入する機能 | 3. 職務にふさわしくない行為があった裁判官を罷免するための弾劾裁判所を設置する機能 | 4. 最高裁判所の裁判官がその職務に適しているかどうかを、国民に直接問う国民審査を実施する機能 |
|---|---|--|---|